

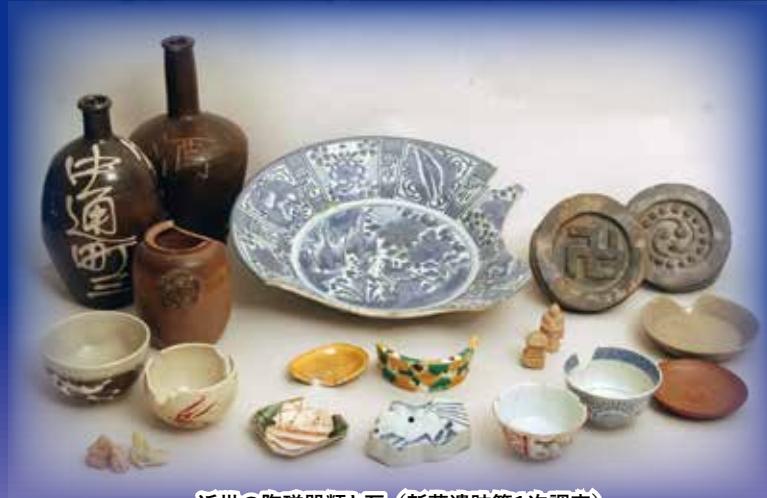
大学の遺跡からみた徳島の歴史

弥生集落と近世武家屋敷を中心にして

徳島大学の蔵本・常三島・新蔵の三キャンパスは、遺跡の上に立地しています。蔵本キャンパスでは弥生時代の農耕集落跡、常三島・新蔵キャンパスでは近世徳島藩の武家屋敷跡などに関係する文化財が多数確認され、考古学・歴史学などの学界に大きく貢献してきました。今回は、本学埋蔵文化財調査室がこれまでに行つた調査研究の成果を、弥生時代の集落と近世武家屋敷に焦点をあてて、披露します。



弥生時代前期（約2500年前）の畠（庄・蔵本遺跡第20次調査）



近世の陶磁器類と瓦（新蔵遺跡第1次調査）

2025年
11月4日 火～2月27日 金

*休館日：12月27日（土）～1月4日（日）

徳島大学日亜会館1F ガレリア新蔵
ギャラリーフロア・展示室

〒770-8501 徳島県徳島市新蔵町2丁目24

お問い合わせ先

徳島大学埋蔵文化財調査室

〒770-8506

徳島市南常三島町2丁目1番地

Tel&Fax.088-656-9405

<https://tokudaimaibun.jp/>

